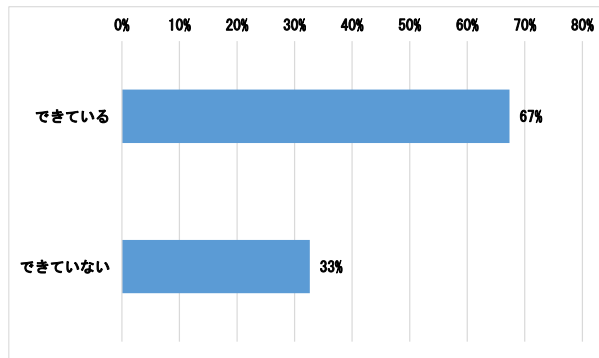


水環境活動実施団体アンケート結果集計

1 水辺における活動へ安心して参加できる環境づくりについて

(1) 安心して水に触れる活動を実施できていますか。

①できている ②できていない

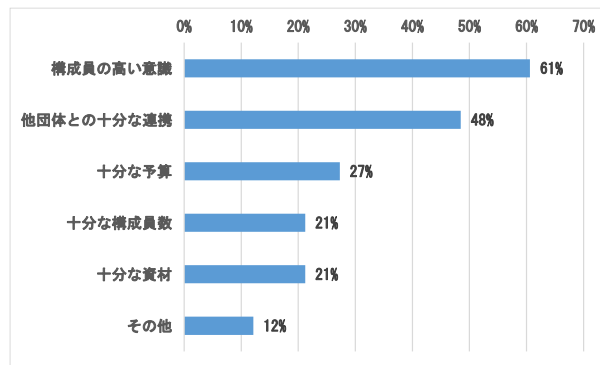


安心して水に触れる活動を実施「できている」団体が67%、「できていない」団体が33%となっている。

(2) (1) で「①」と回答した方にお伺いします。

(2-1) 活動を継続できる秘訣は何ですか。(複数回答可)

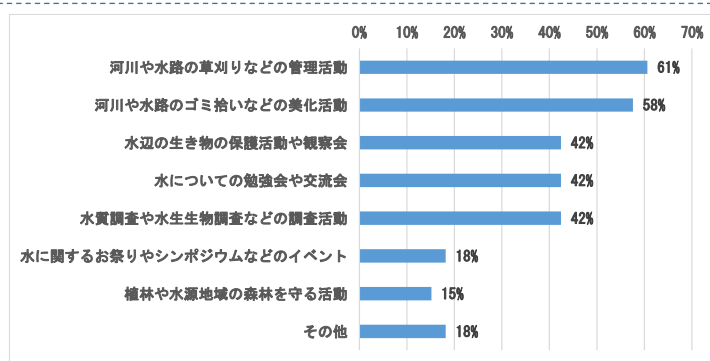
①構成員の高い意識 ②十分な構成員数 ③十分な資材
④十分な予算 ⑤他団体との十分な連携 ⑥その他[]



活動を継続できる秘訣は、「構成員の高い意識」が61%、「他団体との十分な連携」が48%、「十分な予算」が27%、「十分な構成員数」が21%、「十分な資材」が21%となっている。

(2-2) どのような活動を実施していますか。(複数回答可)

- ①河川や水路のゴミ拾いなどの美化活動
- ②河川や水路の草刈りなどの管理活動
- ③植林や水源地域の森林を守る活動
- ④水辺の生き物の保護活動や観察会
- ⑤水についての勉強会や交流会
- ⑥水質調査や水生生物調査などの調査活動
- ⑦水に関するお祭りやシンポジウムなどのイベント
- ⑧その他[]

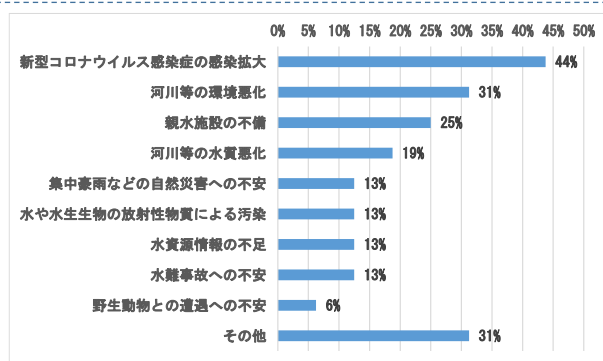


継続している活動は、「河川や水路の草刈りなどの管理活動」が61%、「河川や水路のゴミ拾いなどの美化活動」が58%、「水辺の生き物の保護活動や観察会」が42%、「水についての勉強会や交流会」が42%、「水質調査や水生生物調査などの調査活動」が42%、「水に関するお祭りやシンポジウムなどのイベント」が18%、「植林や水源地域の森林を守る活動」が15%となっている。

(3) (1) で「②」と回答した方にお伺いします。

(3-1) 活動を実施できない理由は何ですか。(複数回答可)

- ①集中豪雨などの自然災害への不安
- ②河川等の水質悪化
- ③水や水生生物の放射性物質による汚染
- ④河川等の環境悪化
- ⑤新型コロナウイルス感染症の感染拡大
- ⑥親水施設の不備
- ⑦水資源情報の不足
- ⑧水難事故への不安
- ⑨野生動物との遭遇への不安
- ⑩その他



安心して活動できない理由は、「新型コロナウイルス感染症の感染拡大」が44%、「河川等の環境悪化」が31%、「親水施設の不備」が25%、「河川等の水質悪化」が19%、「集中豪雨などの自然災害への不安」が13%、「水や水生生物の放射性物質による汚染」が13%、「水資源情報の不足」が13%、「水難事故への不安」が13%、「野生動物との遭遇への不安」が6%となっている。

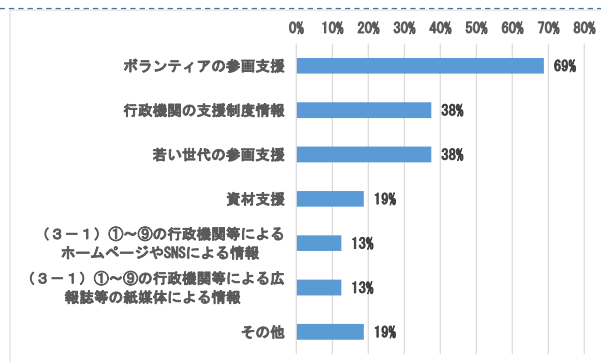
(3-2) 活動再開に向け、取り組んでいることはありますか。(自由記載)

シンポジウム開催や安全対策講習などを実施している団体もあったが、特に取組を行っていない団体がほとんどとなっている。

(3-3) 活動に実施するために必要な支援はどのようなものですか。

(3つまで)

- ① (3-1) ①～⑨の行政機関等によるホームページやSNSによる情報
② (3-1) ①～⑨の行政機関等による広報誌等の紙媒体による情報
③ 資材支援 ④ 行政機関の支援制度情報
⑤ 若い世代の参画支援 ⑥ ボランティアの参画支援
⑦ その他 []

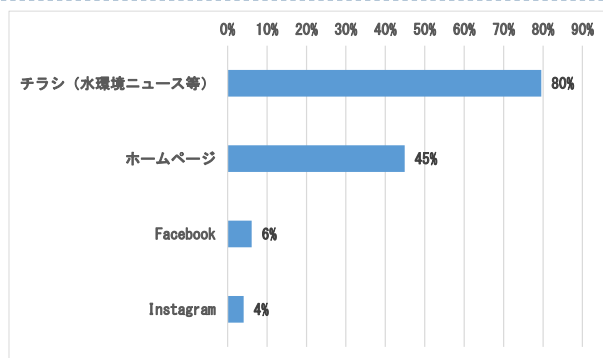


安心して活動するために必要な支援は、「ボランティアの参画支援」が69%、「行政機関の支援制度情報」が38%、「若い世代の参画支援」が38%、「資材支援」が19%、「(3-1) ①～⑨の行政機関等によるホームページやSNSによる情報」が13%、「(3-1) ①～⑨の行政機関等による広報誌等の紙媒体による情報」が13%となっている。

2 水環境学習・活動支援情報の効果的な発信と活動支援について

(1) 復興・総合計画課の情報発信で御存じのものはどれですか。(複数回答可)

- ①ホームページ ②Facebook ③Instagram
④チラシ (水環境ニュース等)

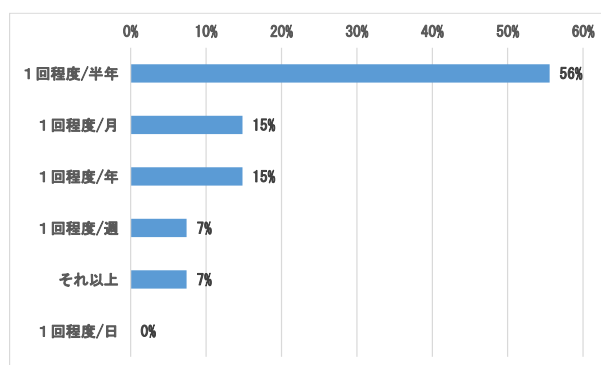


復興・総合計画課の情報発信で知っているのは、「チラシ (水環境ニュース等)」が80%、「ホームページ」が45%、「Facebook」が6%、「Instagram」が4%となっている。

(2) (1) で「①～③」のいずれかを選択された方にお伺いします。

(2-1) どの程度の頻度で御覧になりますか。(複数回答可)

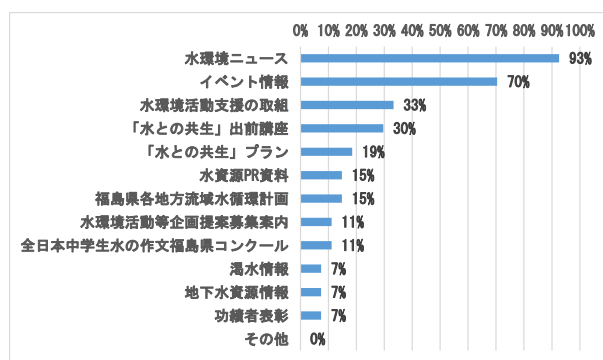
- ①1回程度/日 ②1回程度/週 ③1回程度/月 ④1回程度/半年
⑤1回程度/年 ⑥それ以上[]



復興・総合計画課の情報提供を見る頻度は、「1回程度/半年」が56%、「1回程度/月」が15%、「1回程度/年」が15%、「1回程度/週」が7%、「それ以上」が7%、「1回程度/日」が0%となっている。

(2-2) どのような情報を御覧になりますか。(複数回答可)

- ① イベント情報 ② 渇水情報 ③ 地下水資源情報
- ④ 水環境ニュース ⑤ 水資源 PR 資料 ⑥ 水環境活動支援の取組
- ⑦ 水環境活動等企画提案募集案内 ⑧ 「水との共生」出前講座
- ⑨ 福島県各地方流域水循環計画 ⑩ 「水との共生」プラン
- ⑪ 全日本中学生水の作文福島県コンクール
- ⑫ 功績者表彰 ⑬ その他 []

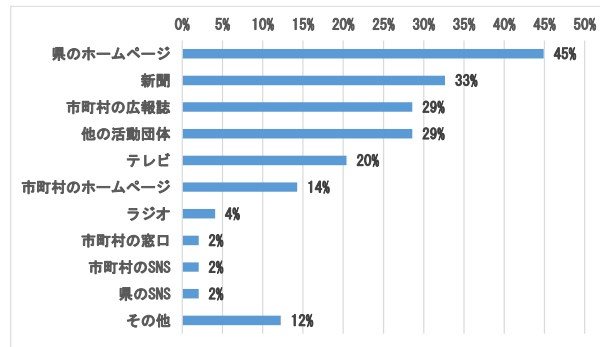


復興・総合計画課の情報で見る内容は、「水環境ニュース」が93%、「イベント情報」が70%、「水環境活動支援の取組」が33%、「「水との共生」出前講座」が30%、「「水との共生」プラン」が19%、「水資源PR資料」が15%、「福島県各地方流域水循環計画」が15%、「水環境活動等企画提案募集案内」が11%、「全日本中学生水の作文福島県コンクール」が11%、「渇水情報」が7%、「地下水資源情報」が7%、「功績者表彰」が7%となっている。

(3) 水環境活動に関する情報収集は、どのようにされていますか。

(複数回答可)

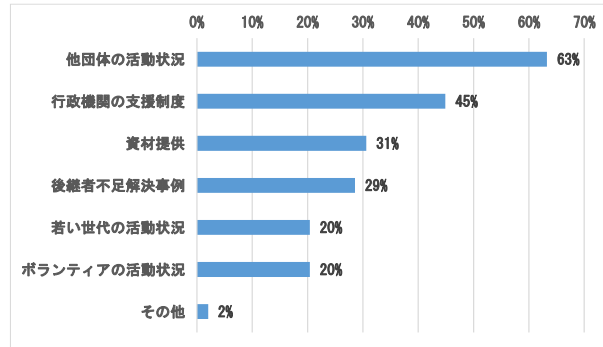
- ①テレビ ②ラジオ ③新聞 ④市町村の広報誌
⑤市町村の窓口 ⑥市町村のホームページ ⑦市町村の SNS
⑧県のホームページ ⑨県の SNS ⑩他の活動団体
⑪その他 []



情報収集源は、「県のホームページ」が45%、「新聞」が33%、「市町村の広報誌」が29%、「他の活動団体」が29%、「テレビ」が20%、「市町村のホームページ」が14%、「ラジオ」が4%、「市町村の窓口」が2%、「市町村の SNS」が2%、「県の SNS」が2%となっている。

(4) 水環境活動の効果的な実施にあたり、どのような情報が必要ですか。
(複数回答可)

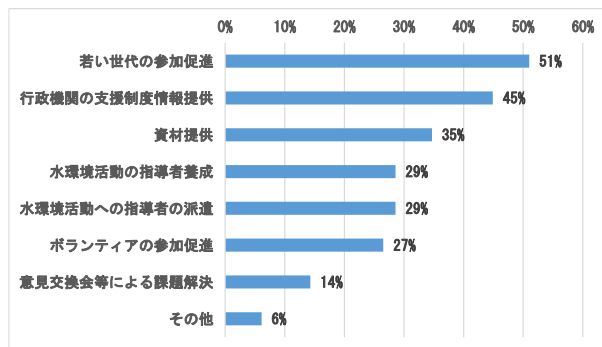
- ①他団体の活動状況
- ②若い世代の活動状況
- ③ボランティアの活動状況
- ④資材提供
- ⑤行政機関の支援制度
- ⑥後継者不足解決事例
- ⑦その他



水環境活動の効果的な実施に必要な情報は、「他団体の活動状況」が63%、「行政機関の支援制度」が45%、「資材提供」が31%、「後継者不足解決事例」が29%、「若い世代の活動状況」が20%、「ボランティアの活動状況」が20%となっている。

(5) 水環境活動の効果的な実施にあたり、必要な支援はどのようなものですか。(3つまで)

- ①水環境活動の指導者養成
- ②水環境活動への指導者の派遣
- ③若い世代の参加促進
- ④ボランティアの参加促進
- ⑤意見交換会等による課題解決
- ⑥資材提供
- ⑦行政機関の支援制度情報提供
- ⑧その他[]

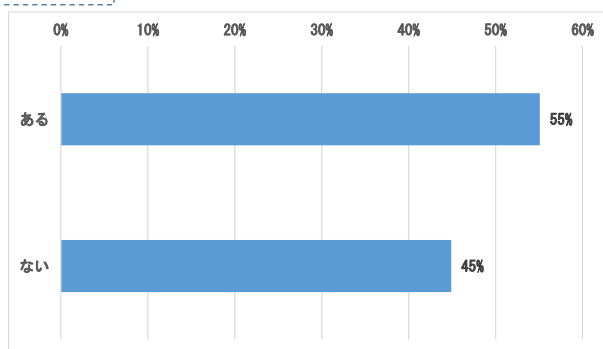


水環境活動の効果的な実施に必要な支援は、「若い世代の参加促進」が51%、「行政機関の支援制度情報提供」が45%、「資材提供」が35%、「水環境活動の指導者養成」が29%、「水環境活動への指導者の派遣」が29%、「ボランティアの参加促進」が27%、「意見交換会等による課題解決」が14%となっている。

3 若い世代の参画による水環境活動の活性化について

(1) 貴団体の水環境活動に若い世代の参加はありますか。

①ある ②ない



活動への若い世代の参画は、「ある」が55%、「ない」が45%となっている。

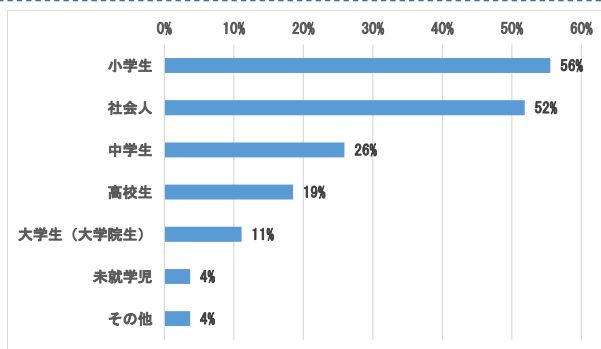
(2) 若い世代の参加に向け、取り組んでいることはありますか。(自由記載)

若い世代の参画に向け、小学校等への参加募集や若い世代への声かけ、回覧板での周知を行っている団体が多くなっている。

(3) (1) で「①」と回答した方にお伺いします。

(3-1) どの世代の参加が多いですか。(複数回答可)

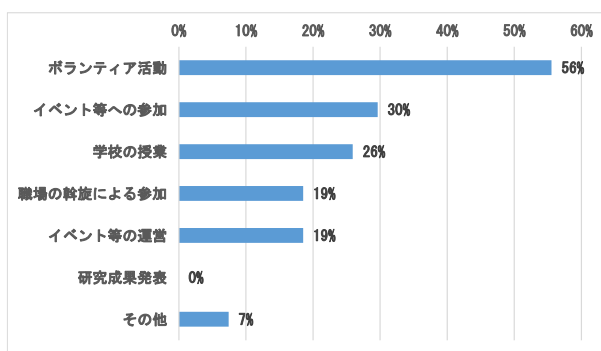
- ①未就学児 ②小学生 ③中学生 ④高校生 ⑤大学生 (大学院生)
⑥社会人 ⑦その他[]



参加する若い世代の内訳は、「小学生」が56%、「社会人」が52%、「中学生」が26%、「高校生」が19%、「大学生 (大学院生)」が11%、「未就学児」が4%となっている。

(3-2) 参加の形態はどのようなものですか。(複数回答可)

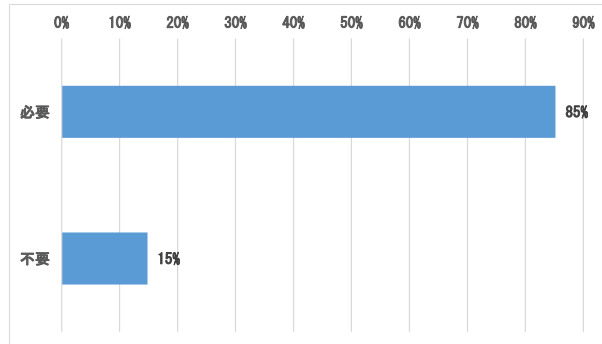
- ①学校の授業 ②ボランティア活動 ③職場の斡旋による参加
④イベント等への参加 ⑤イベント等の運営 ⑥研究成果発表
⑦その他[]



参加形態は、「ボランティア活動」が56%、「イベント等への参加」30%、「学校の授業」が26%、「職場の斡旋による参加」が19%、「イベント等の運営」が19%、「研究成果発表」が0%となっている。

(3-3) さらなる若い世代の参画は、必要ですか。

①必要 ②不要

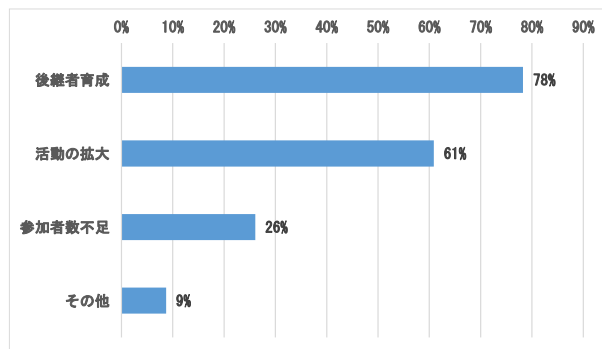


若い世代の参画については、「必要」が85%、「不要」が15%となっている。

(3-4) (3-3) で「①」と回答した方にお伺いします。(複数回答可)

(3-4-1) さらなる若い世代の参画が必要な理由は、何ですか。

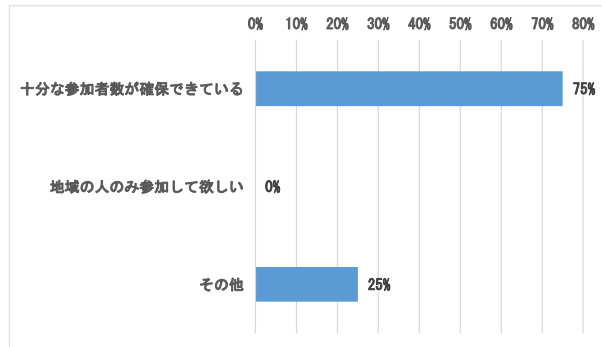
①参加者数不足 ②後継者育成 ③活動の拡大 ④その他[]



若い世代の参画がさらに必要な理由は、「後継者育成」が78%、「活動の拡大」が61%、「参加者数不足」が26%となっている。

(3-5) (3-3) で「②」と回答した方にお伺いします。(複数回答可)
(3-5-1) さらなる若い世代の参画が不要な理由は、何ですか。

- ①十分な参加者数が確保できている ②地域の人のみ参加して欲しい
③その他[]

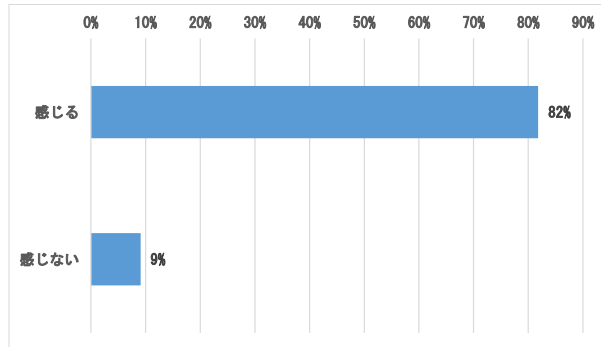


若い世代の参画がこれ以上いらない理由は、「十分な参加者数が確保できている」が75%、「地域の人のみ参加して欲しい」が0%となっている。

(4) (1) で「②」と回答した方にお伺いします。

(4-1) 若い世代の水環境活動への参加の必要性を感じますか。

①感じる ②感じない

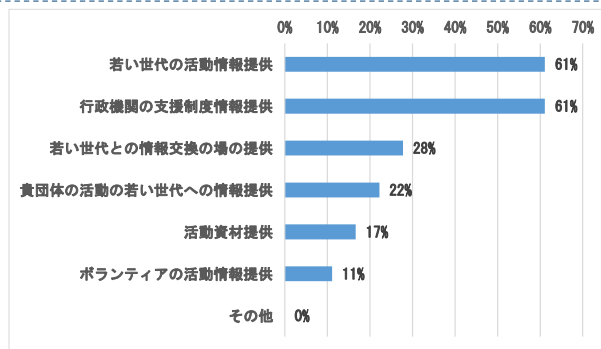


若い世代の参加の必要性について、「感じる」が82%、「感じない」が9%となっている。

(4-2) (4-1) で「①」と回答した方にお伺いします。(3つまで)

(4-2-1) 若い世代の参画のために必要な支援は、どのようなものですか。

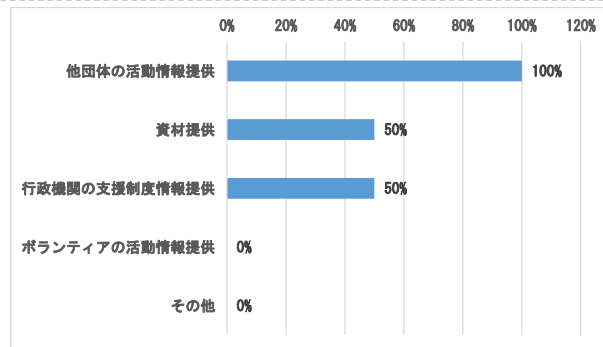
①若い世代の活動情報提供 ②貴団体の活動の若い世代への情報提供
③若い世代との情報交換の場の提供 ④ボランティアの活動情報提供
⑤行政機関の支援制度情報提供 ⑥活動資材提供
⑦その他[]



若い世代の参画に必要な支援は、「若い世代の活動情報提供」が61%、「行政機関の支援制度情報提供」が61%、「若い世代との情報交換の場の提供」が28%、「貴団体の活動の若い世代への情報提供」が22%、「活動資材提供」が17%、「ボランティアの活動情報提供」が11%となっている。

(4-3) (4-1) で「②」と回答した方にお伺いします。(3つまで)
(4-3-1) 水環境活動の活性化に向けて必要な支援は、どのようなものですか。

- ①他団体の活動情報提供 ②ボランティアの活動情報提供
③資材提供 ④行政機関の支援制度情報提供
⑤その他[]



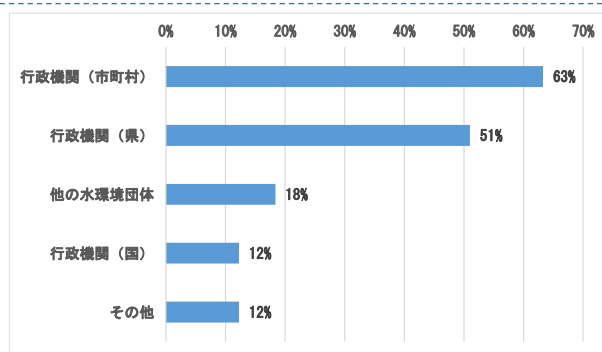
若い世代の参加ではない水環境活動の活性化に向けた支援は、「他団体の活動情報提供」が100%、「資材提供」が50%、「行政機関の支援制度情報提供」が50%、「ボランティアの活動情報提供」が0%となっている。

4 水循環施策の窓口機能の強化について

(1) 水環境活動の実施にあたり、相談する場合の窓口はどこですか。

(複数回答可)

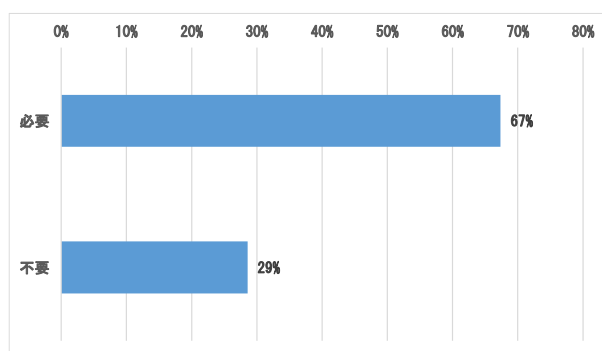
- ①行政機関（市町村） ②行政機関（県） ③行政機関（国）
④他の水環境団体 ⑤その他[]



普段の相談窓口は、「行政機関（市町村）」が63%、「行政機関（県）」が51%、「他の水環境団体」が18%、「行政機関（国）」が12%となっている。

(2) 水環境活動に関することを全て相談できる総合窓口が必要ですか。

- ①必要 ②不要

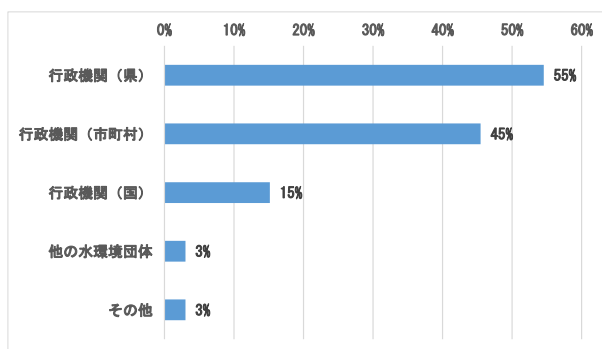


総合窓口の必要性について、「必要」が67%、「不要」が29%となっている。

(3) (2) で「①」と回答した方にお伺いします。

(3-1) どこが総合窓口になることが望ましいですか。(複数回答可)

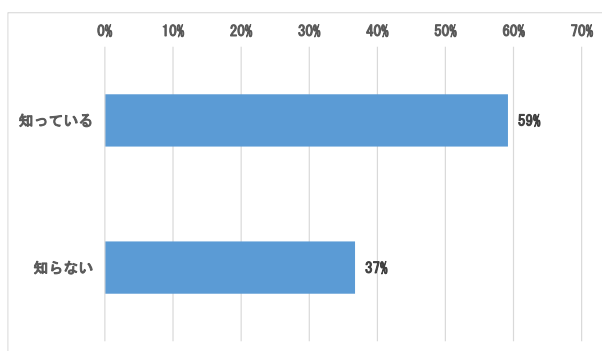
- ①行政機関(市町村) ②行政機関(県) ③行政機関(国)
④他の水環境団体 ⑤その他[]



総合窓口となる機関としては、「行政機関(県)」が55%、「行政機関(市町村)」が45%、「行政機関(国)」が15%、「他の水環境団体」が3%となっている。

(4) 県が水環境活動の総合窓口として設置している福島県水循環協議会や各地方流域水循環協議会を御存じですか。

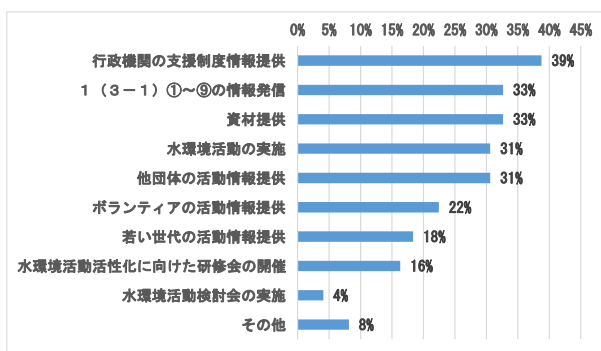
- ①知っている ②知らない



福島県水循環協議会や地方流域水循環協議会の認知度については、「知っている」が59%、「知らない」が37%となっている。

(5) 福島県水循環協議会や各地方流域水循環協議会にどのような役割を期待しますか。(3つまで)

- ① 1 (3-1) ①～⑨の情報発信 ②水環境活動の実施
 ③水環境活動検討会の実施 ④水環境活動活性化に向けた研修会の開催
 ⑤他団体の活動情報提供 ⑥若い世代の活動情報提供
 ⑦ボランティアの活動情報提供 ⑧資材提供
 ⑨行政機関の支援制度情報提供 ⑩その他[]



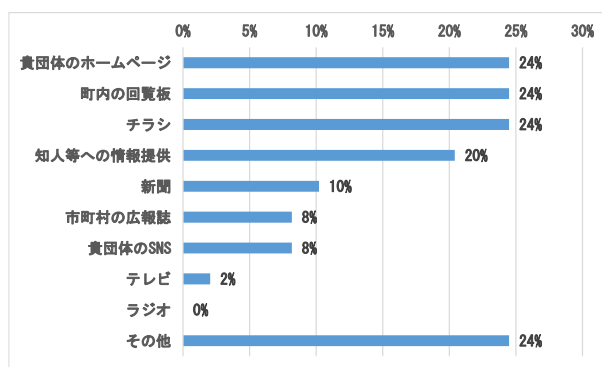
福島県水循環協議会や地方流域水循環協議会に期待する役割は、「行政機関の支援制度情報提供」が39%、「1 (3-1) ①～⑨の情報発信」が33%、「資材提供」が33%、「水環境活動の実施」が31%、「他団体の活動情報提供」が31%、「ボランティアの活動情報提供」が22%、「若い世代の活動情報提供」が18%、「水環境活動活性化に向けた研修会の開催」が16%、「水環境活動検討会の実施」が4%となっている。

5 その他

(1) 貴団体の水環境活動の広報をどのように実施していますか。

(複数回答可)

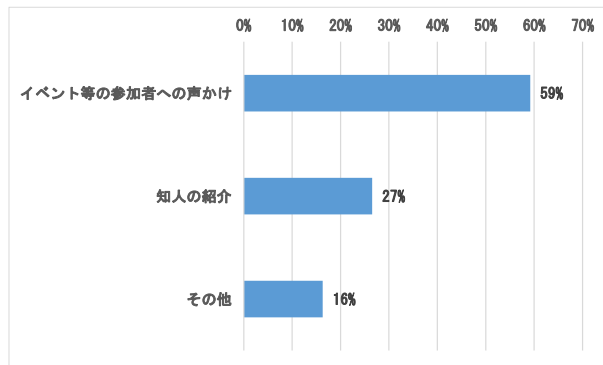
- ①テレビ ②ラジオ ③新聞 ④市町村の広報誌
⑤貴団体のホームページ ⑥貴団体の SNS ⑦知人等への情報提供
⑧町内の回覧板 ⑨チラシ⑩その他[]



情報発信は、「貴団体のホームページ」が24%、「町内の回覧板」が24%、「チラシ」が24%、「知人等への情報提供」が20%、「新聞」が10%、「市町村の広報誌」が8%、「貴団体の SNS」が8%、「テレビ」が2%、「ラジオ」が0%となっている。

(2) 水環境活動の輪を拡げていくために、どのように人材の育成や確保を行っていますか。(複数回答可)

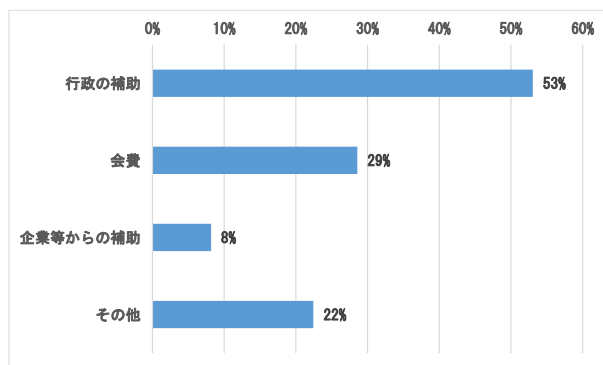
- ①イベント等の参加者への声かけ ②知人の紹介
③その他[]



人材確保の手法としては、「イベント等の参加者への声かけ」が 59%、「知人の紹介」が 27%となっている。

(3) 活動資金をどのように確保していますか。(複数回答可)

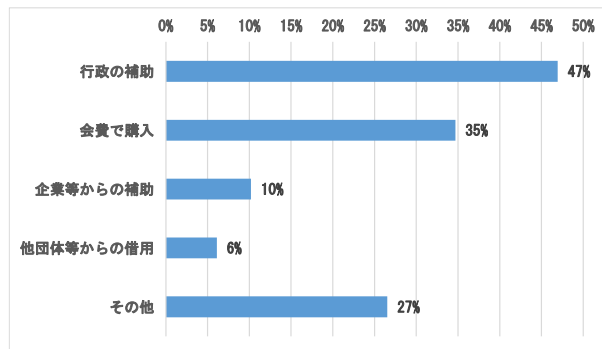
- ①会費 ②行政の補助 ③企業等からの補助 ④その他[]



活動資金は、「行政の補助」が 53%、「会費」が 29%、「企業等からの補助」が 8%となっている。

(4) 活動資材をどのように確保していますか。(複数回答可)

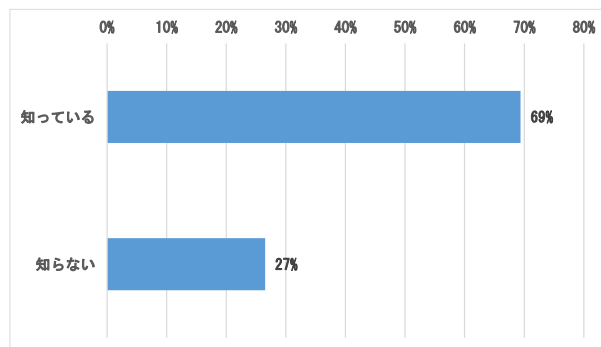
- ①会費で購入 ②行政の補助 ③企業等からの補助
④他団体等からの借用 ⑤その他[]



資材確保の方法は、「行政の補助」が47%、「会費で購入」が35%、「企業等からの補助」が10%、「他団体等からの借用」が6%となっている。

(5) 貴団体が活動している河川の流域で活動している他団体を御存じですか。

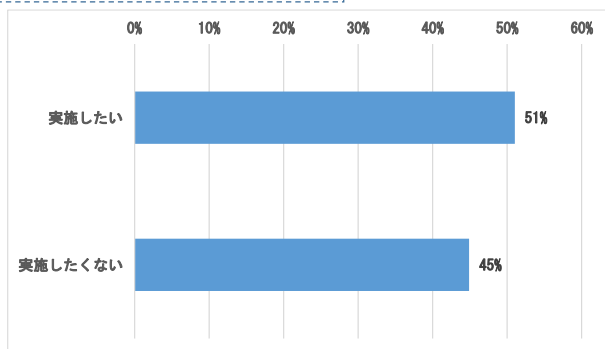
- ①知っている ②知らない



同一流域で活動している団体について、「知っている」が69%、「知らない」が27%となっている。

(6) 他団体と連携して流域全体の活動を実施したいですか。

①実施したい ②実施したくない

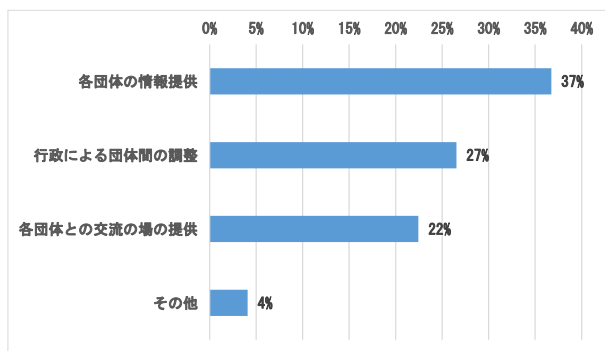


他団体との連携については、「実施したい」が51%、「実施したくない」が45%となっている。

(7) (6)で「①」と回答した方にお伺いします。(複数回答可)

(7-1) 河川の上下流での活動連携に必要な支援はどのようなものですか。

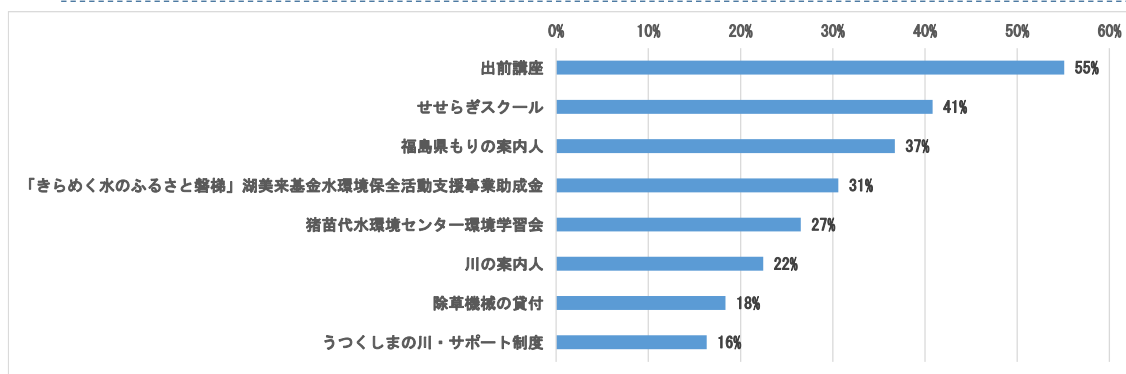
①各団体の情報提供 ②各団体との交流の場の提供
③行政による団体間の調整 ④その他[]



上下流連携に必要な支援は、「各団体の情報提供」が37%、「行政による団体間の調整」が27%、「各団体との交流の場の提供」が22%となっている。

(8) 県の支援制度で御存じのものはどれですか。(複数回答可)

- ①出前講座 ②せせらぎスクール
③「きらめく水のふるさと磐梯」湖美来基金水環境保全活動支援事業助成金
④猪苗代水環境センター環境学習会 ⑤福島県もりの案内人
⑦川の案内人 ⑧うつくしまの川・サポート制度 ⑨除草機械の貸付



県の制度で知っているものは、「出前講座」が 55%、「せせらぎスクール」が 41%、「福島県もりの案内人」が 37%、「「きらめく水のふるさと磐梯」湖美来基金水環境保全活動支援事業助成金」が 31%、「猪苗代水環境センター環境学習会」が 27%、「川の案内人」が 22%、「除草機械の貸付」が 18%、「うつくしまの川・サポート制度」が 16%となっている。